

働く者の立場で政策制度、組織課題の前進を図り、将来に亘り安全で社会に信頼されるJRを築こう!



JR連合

<http://www.jr-rengo.jp>

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階

TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848

FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849

1部20円 (但し組合費を含む)

●発行者/松岡裕次 ●編集者/中山耕介

facebook

JR連合

twitter

JR連合

JR発足30年、JR連合25年 新たな時代へ



2017年 新春

写真：JR北海道「SL冬の湿原号」(釧網線) 撮影者：杉山茂さん (JR北労組 苗穂運転所分会)

JR最大産別の責任と自覚を持って運動を展開します



事務局長
河村 滋喜



副会長
大杉 正美



副会長
許斐 元文



副会長
中濱 斉



副会長
荻山 市朗



副会長
鎌田 茂



副会長
田原 孝蔵



会長
松岡 裕次

顧問 坪井 義範

職員 戸田 真宏

小澤 由枝

福原 美穂



執行委員
本田 雅明



執行委員
尾形泰二郎



執行委員
中山 耕介



執行委員
政所 大祐



執行委員
吉田 祥司



執行委員
上村 良成



会計監査員
本庄 健一



会計監査員
福森 敬和



特別執行委員
慶島 譲治
(交運労協)



特別執行委員
白壁 靖子



特別執行委員
菅野 一位



特別執行委員
新倉 実
(青年・女性委員会)



特別執行委員
火野宮 敦
(グループ労組連絡会)

JR連合結成25年を迎え新たな時代へ JR最大の責任産別の力を発揮しよう

新春
インタビュー

2017年はJR発足から30年、JR連合結成25年を迎えることとなる。第24回定期大会から約半年が経過し、松岡裕次会長にこの間の運動の振り返りと、新たな年の決意を聞いた。最優先課題である安全確立にむけた課題、2017春季生活闘争に臨む意気込み、さらには、JR北海道における鉄道事業の見直しをはじめとする地域公共交通の確立、整備新幹線、民主化闘争などの組織課題、来るべき衆議院解散・総選挙に対して、JR最大の責任産別として取り組む決意を語った。

新たな年を迎え、JR連合が掲げるJR労働界の二元化、10万人組織達成にむけて、大きく飛躍する1年となるべく、JR連合一丸となって取り組みを展開していく。

新たな時代に 自信と誇りをもって JR連合運動を進める

中山教育・広報部長

本年はJR発足30年とともに、JR連合を結成してから25年を迎える年です。この大きな節目にJR最大の責任産別の会長としての思いをお聞かせいただき、その後、安全、政策、組織などの課題についてお聞きしたいと思います。

松岡会長

まず、4月の熊本地震における被災組合員への救援カンパとボランティア活動にご協力いただき感謝を申し上げます。

中山教育・広報部長

JR連合は1992年5月の結成大会で、JR労働運動の新たな創造をはかり、輝ける確かな明日にむかつて、歴史的な第一歩を踏み出しました。この間、自由にして民主的な労働運動を基調として、経済的・社会的地位の向上をめざし、JRに関わる政策課題、組織課題の解決にむけて運動を展開してきました。政策課題としては、JR三島・貨物の税制特例の課題、JR

中山教育・広報部長
ここからは安全、組織、政策などの課題ごとに会長の所感と決意などについてお聞きします。まずは安全の確立についてお聞かせ下さい。

安全の取り組みに終わりはない ひたすら愚直に取り組むのみ

の完全民営化にむけた課題、旧国鉄長期債務処理問題、整備新幹線やりニアの課題などに取り組んできました。組織課題としては、JR総連への革マル派浸透問題をはじめとするJR労働界の一元化にむけた民主化闘争、グループ会社の組織化などに取り組んできました。JR連合総力で、ときには政治に働きかけながら、まさにダイナミックに運動を展開してきてきました。しっかりと過去を振り返り、反省すべきは反省し、この間、

中山教育・広報部長
死亡事故は発生していませんが、大事故に繋がりがねない事象も多く発生し、労働災害とインシデントとともに、昨今発生する

JR連合総結集にむけて 戦略的な民主化闘争を实践

松岡会長

JR連合

は、今日まで「安全指針」や「重大労災防止の行動指針」を柱に「ヒューマンエラー」の結果であり、原因ではない」との姿勢で安全向上にむけた取り組みを愚直に進めてきました。大会以降、幸いにも労災

結成25年を迎え所感を述べるとともに1年の運動の振り返り地点に立ち、取り組みを振り返る

中山教育・広報部長
次は民主化闘争を含めた組織課題の取り組みについてお聞かせください。

松岡会長

1999年1月、当時の葛野JR連合会長が賀詞交歓会の挨拶の中で、「JR労働者の現況は三極構造下であり、JR労働者の社会的地位は低くおかれている。東日本においては、JR東労組一辺倒の労政が敷かれ、そこに働く組合員が辛酸を舐めている。東日本エリアにおける社会正義の確立とJR労働運動の社会的地位確立のために、東日本の民



聞き手：中山耕介教育・広報部長

ボジウムで提言したさらなる安全性向上にむけた取り組みをもとに、「安全指針（改訂版2016）」を策定し、第25回定期大会において確認いただきました。今後、重大事故防止ハドブックについても改訂作業を進めているところで、こうした機材を活用しながら労働組合として職場からの安全確立にむけてより一層の取り組みを強化していきます。あわせて、本年10月開催予定の「第10回安全シンポジウム」の充実に取り組んでいきます。

安全の確立にむけては、どれだけ取り組んでも終わりはありません。引き続き「すべてのJR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」を目標とする安全最優先の取り組みを、常に、愚直に進めていくことに尽きると考えています。



JR労働界一元化にむけて活用されている民主化闘争のパンフレットなど

るとともに、国鉄入社世代が大量退職する中で、次代へ民主化闘争を引き継ぐためにも、今一度、民主化闘争の火を再燃させることの必要性を感じていました。そのような中、第25回定

あけましておめでとうございます

ZENROSAI NEWS

支えあうことの安心を、さらに多くの皆さまへ。

全労済の住まいる共済	火災共済・自然災害共済	こくみん共済
総合医療共済	せいのめ共済	ねんきん共済
マイカー共済	自賠責共済	交通災害共済
団体生命共済	新団体年金共済	セレクト移行共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

交通共済 ニュース

総合共済	交通災害共済
火災共済	生命共済
類焼損害保障	入院共済
個人賠償保障	マイカー共済
借家人賠償保障	自賠責共済
地震風水害共済	総合医療共済

交通共済理事長 坪井義範

謹んで
新春のご挨拶を
申し上げます

全国交通共済生協として名称変更して、本年4月1日に30周年を迎えます。JR連合をはじめとする加盟組合の皆さまに支えられて、今日を迎えることができています。今後もJR職域共済として「助け合い」「相互扶助」の精神に則り事業を行い、職場に働く皆さまとそのご家族の福祉向上に取り組んでまいります。

本年も共済運動の発展に向けて邁進してまいりますので、よろしくお申し込み申し上げます。

交通共済 (JR職域生協)
全国交通運輸産業労働者共済生活協同組合



組合員・家族などで取り組んだ署名を持って税制特例措置に対する要請書を麻生財務大臣に手渡す (11月16日) 11月末現在 署名68,407筆 意見書採択67地方議会

2017 春季生活闘争 JR グループ全体の底上げを

中山教育・広報部長
2017 春季生活闘争の意気込みなどについてお聞かせください。

松岡会長

JR 連合は、「賃金は最大の労働条件である」との認識のもと、今日まで統一ベア要求を掲げて春闘に臨んできました。また、JR 各単組とグループ労組の格

差是正にむけても取り組み、JR に働くすべての労働者の地位向上と待遇改善をめざし業種ごとに賃金の到達目標を定めた「中期労働政策ビジョン (2014〜2018)」を策定してきま

「政策集団」として 公共交通のあり方を 強力に発信

中山教育・広報部長

政策課題の解決にむけた取り組みについてお聞かせください。

松岡会長

1987 年「鉄道の再生」をめざした国鉄改革によって誕生した JR 各社は、国民、利用者の皆様から信頼される公共交通機関としての役割を担うよう、地域密着型の経営を志向し、国鉄時代と比べて大幅な運行本数増加やサービス改善を行ってきました。また、JR 貨物も物流を支える役割を担うべく経営努力を重ね、利用者・国民から信頼を得てきました。一方で、超少子高齢化・人口減少と、大都市一極集中と地方の過疎化が同時進行し、地域や経済

「闘争」の取り組みを具体的に展開し、一人でも多くの組織拡大を図り、JR 連合への総結集に向けた道筋を構築していく運動を行っていきたく考えています。

また、JR 北海道、JR 東日本、JR 貨物の 3 社においては、労政が固定化している状況がありますが、JR 連合は、この間も将来

でも、今後も革マル派の浸透を座視していいのか、真のパートナーとして JR 総連が相応しいのか、各社の冷静な判断と労政の転換を強く求めていると考えています。

また、JR グループには、九州エリアや東海エリアをはじめとして、多くの労働組合未結成のグループ会社があり、その組織化やエリア連合への結集は重要な取り組みとなっています。

これからの課題を克服することにより、当面の目標である JR 連合「10 万人組織」達成、延いては「1000 万人連合」への道筋に繋がると確信しています。

また、グループ労組間の「格差是正」については、グループ会社で働く仲間の労働条件の改善に繋がられるように、グループ会社の業務再編などによって収入の柱となるものを持たせるようなことも JR 各社やグループ会社に対して働きかけていきたいと考えています。

労条件の改善を図ることができました。

2017 春季生活闘争においては、「中期労働政策ビジョン」に基づく 3 回目の取り組みとなります。今年も連合方針に則って、ベア要求を掲げて闘いたいと考えています。また、政府・与党が「働き方改革」と称



新たな年の決意を語る松岡裕次会長

して進めている「同一労働同一賃金」「長時間労働是正」を柱とする労働基準法等の改正の動向に注視しつつ、具体的な要求内容については、これから賃金対策委員会でも議論し、2 月 2 日の第 29 回中央委員会でも決定することになります。

2017 賀詞交歓会のご案内

1. 日時	2017 年 1 月 6 日 (金) 13:00~17:00
2. 会場	ベイサイドホテルアジュール竹芝 住所 東京都港区海岸 1-11-2 電話 03-3437-2011
3. 内容	第 1 部 (13:00~14:30) 新春セミナー 講師: 水町 勇一郎 教授 (東京大学社会科学研究所) 第 2 部 (15:00~17:00) 賀詞交歓会



JR 北海道の信頼を回復させ再生を図るべく毎年開催している JR 北労組「JR 北海道の再生をめざす安全集会」(11 月 27 日)

先日の政策シンポジウムの中でも有識者から提起があつたように、JR をはじめ公共交通事業者が自治体や住民らとともに地域公共交通のあり方についての議論に参加することは当然として、そこで働く労働組合も、同じ地域の一員として、その議論に積極的に加わっていくことが必要不可欠であると思います。働く者の立場として提案できることがたくさんあるはずですが、

また、2017 年 3 月末に期限を迎える JR 二島・貨物の税制特例措置についても全組合員と家族を対象とした署名活動に取り組むとともに、地方議会における意見書採択にも取り組んできました。財務・総務・国土交通の 3 大臣への要請行動も含めて積極的に取り組み、与党の税制改正大綱に反映させることが出来ました。まさに JR 連合が一つでもあることから、政治と密接な関係にあります。

JR 連合の政策課題をはじめとする諸課題を解決するうえでも政治との関わりは必要不可欠です。「政治に

諸課題の解決にむけて 政治に強力に働きかける

松岡会長

最後になりますが、私たちは来たるべき衆議院の解散・総選挙に備えなければなりません。JR 産業は、重要な社会インフラのひとつでもあることから、政治と密接な関係にあります。

JR 連合 8 万 1000 人が一致団結し、諸課題の解決に取り組むことを要請するとともに、また、その先頭を立つて奮闘していくことをお誓いしたいと思います。ともに頑張りましょう。

は無関心でも政治に無関係でいられない」という言葉どおり、まさに税制や社会保障制度などは、その最たるものであると言えます。しかし、今の政治状況はあまりにも民意からほど遠く、まさに一強体制の「数の力」で、すべてが決まる状況となっていると言わざるを得ません。「JR 連合国会議員懇談会」や「21 世紀の鉄道

① J R 連合役員（特別執行委員、会計監査員含む）
② 中央委員 36 名（J R 北労組 2、J R 東海ユニオン 11 名、J R 西労組 14 名、J R 四国労組 3 名、J R 九州労組 5 名、貨物鉄産労 1 名）
③ 特別中央委員 10 名（J R E ユニオン 1 名、J R 東海連合 3 名、J R 西日本連合 3 名、J R 四国連合 1 名、J R 九州連合 1 名、J R 貨物連合 1 名）